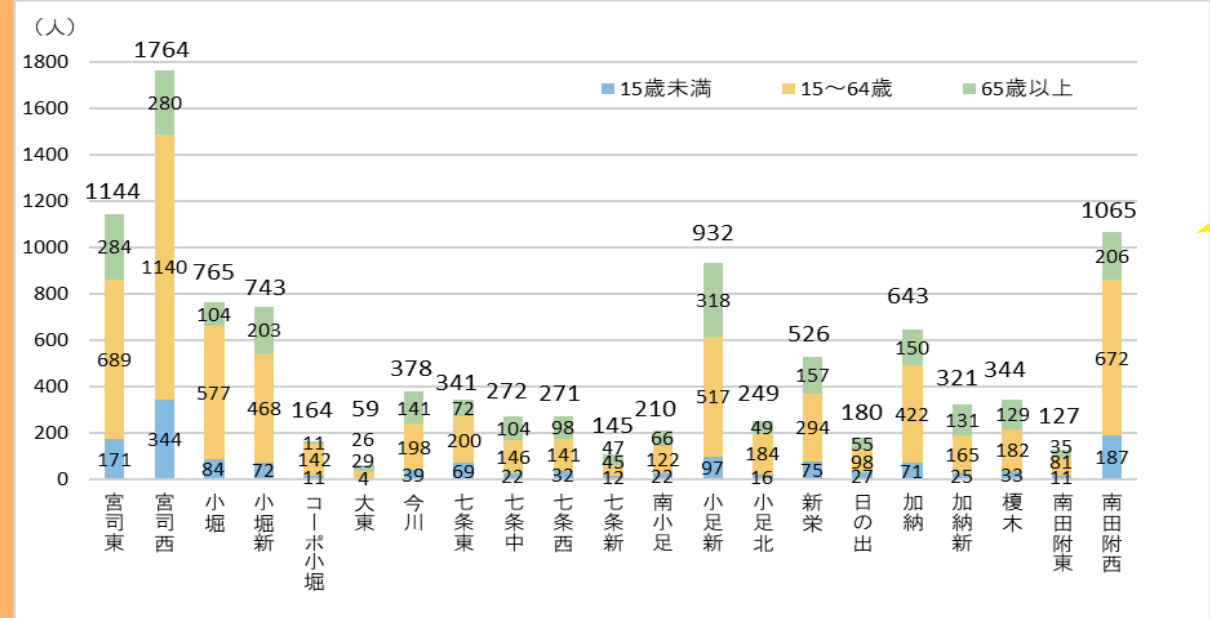
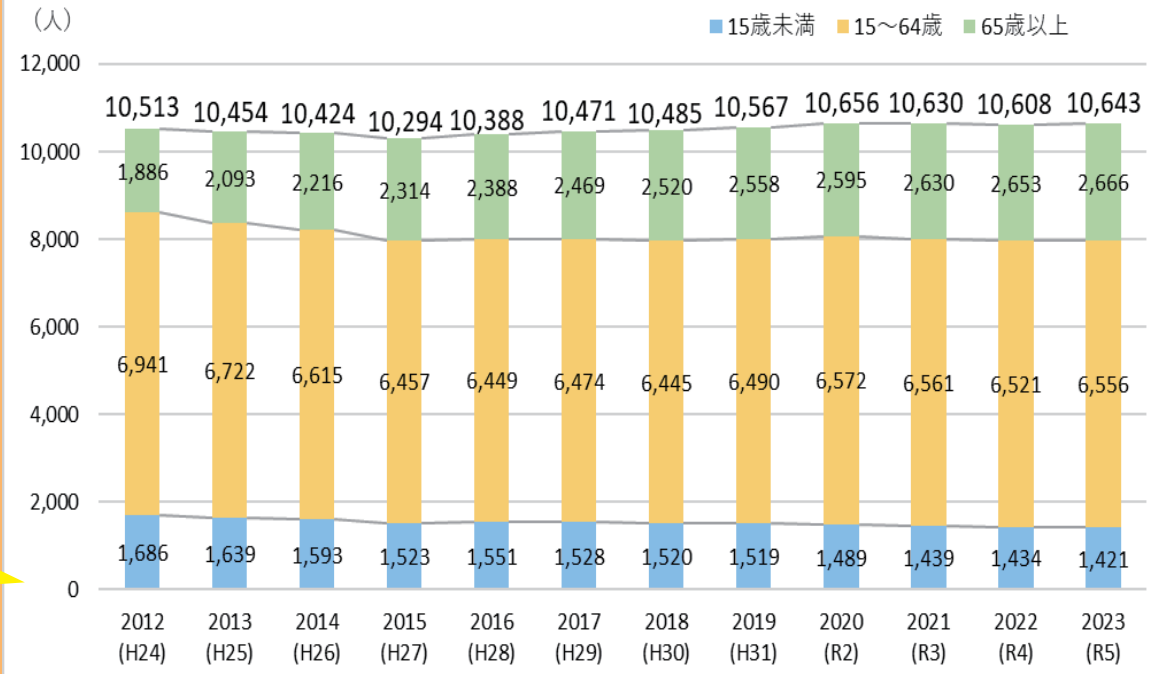
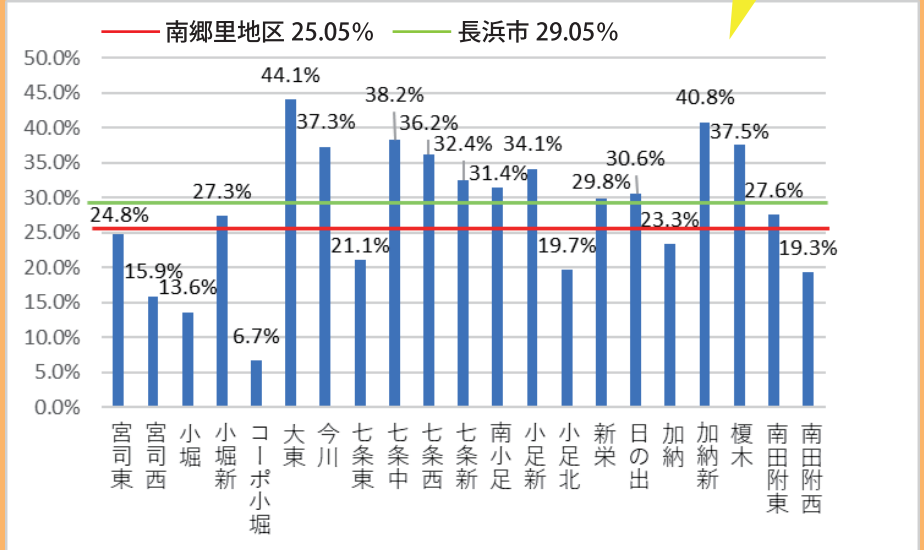


年代別
人口推移

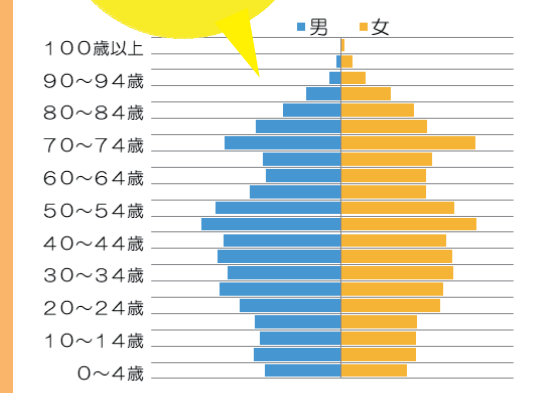


自治会別
人口構成

自治会別
高齢化率



人口
ピラミッド



第3期
南郷里地区福祉活動計画



この活動計画は、福祉（暮らし）について住民みんなで考え、少しでも暮らしやすい南郷里になるよう行動するための指針であり、「住民参加」による活動・実践と関係機関・団体との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を進める計画です。

第2期活動計画で定めた三つの活動方針「見守り・支えあい」「居場所づくり」「活動を支える」を引継ぎ、さらなる地域福祉を推進します。



基本理念

いつまでも住み続けたい南郷里

福祉と暮らしの利便性のまちづくり

基本目標



活動方針

1

見守り・支えあい

子どもや高齢者、しょうがいのある方など支援を必要とする人をはじめ、地域で暮らすすべての人が安心して暮らせるように、さまざまな福祉課題について理解を深め、見守り支えあいへの関心を高めていきます。

見守り支えあいの取組を進めることで、住民みんながお互いに身近な小地域の中で、きめ細やかな見守り支えあいができるような活動を推進します。

取り組み

- 福祉委員活動の充実
- 命のバトン事業の普及啓発
- 友愛訪問活動などを通しての支援を必要とする人の把握と共有
- 自治会での自治会福祉部または福祉委員会などの情報交換の場づくり
- 暮らしの困りごと（生活課題）の把握と対策の検討
- 福祉課題への理解を深める研修会などの開催

活動方針

2

居場所づくり

身近な地域である自治会やまちづくりセンターを中心としたこれまでの活動を継続しながら、子どもから高齢者、また若い世代を含むすべての人たちが参画するなど、誰もが役割や生きがいを持つことができる居場所づくりを進めます。

取り組み

- 特技や趣味、年代に応じた居場所づくりへの支援
- サロン活動や転倒予防教室など自治会での活動支援
- 子どもと高齢者との交流など多世代が関わる機会の提供
- 子育て広場「はぐみんぐ」の開催
- まなびの広場の開催
- 子ども食堂の開催
- 子ども学び座の開催
- おとなの学び座の開催



活動方針

3

活動を支える

福祉の取組を地域住民だけでなく、行政や専門職などの関係機関との連携により、さらなる福祉活動の充実と広がりを目指します。また、活動や地域福祉の情報を発信することで、地域住民に広く啓発を行っていきます。

新たな地域福祉の担い手を発掘・育成していくとともに、住民による自主的な福祉活動が実施できるよう支援していく仕組みづくりに努めます。

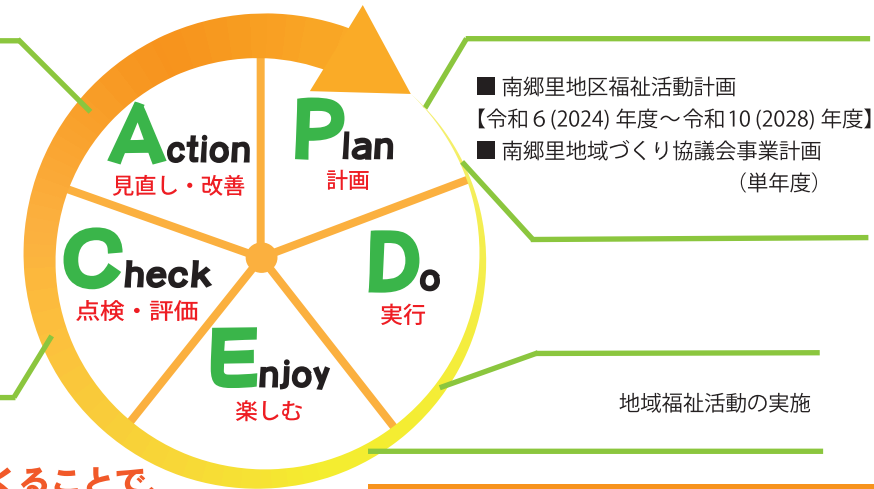
取り組み

- 福祉施設や各団体との交流や連携による福祉活動の充実
- 福祉専門職との連携
- 地域住民の福祉や健康等に関する理解と関心を深める情報発信
- 地域福祉の担い手の発掘と育成

活動の中心の実施主体である南郷里地域づくり協議会地域福祉部会（南郷里地区社会福祉協議会）の事業の単年度事業計画や予算に反映します。

関係団体においても活動に反映します。

地域福祉部会を中心に、活動と計画の推進状況について評価する振り返りの場をつくります。



- 南郷里地区福祉活動計画【令和6(2024)年度～令和10(2028)年度】
- 南郷里地域づくり協議会事業計画(単年度)

計画の振り返りの場をつくることで、さらなる活動の発展を行っていきます！

活動計画の進め方